

2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東  
 コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>  
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 柳澤 大輔  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 管理本部長（氏名） 丹治 拓未（TEL）0467-61-3399  
 半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（個人投資家向け、証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	8,824	14.6	291	472.4	174	43.4	352	—
2024年12月期中間期	7,703	△5.1	50	△87.4	121	△76.4	24	△92.3

（注）包括利益 2025年12月期中間期 294百万円（—%） 2024年12月期中間期 20百万円（△93.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	21.86	—
2024年12月期中間期	1.49	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	12,599	6,259	46.1
2024年12月期	12,875	6,027	42.9

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 5,807百万円 2024年12月期 5,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	3.90	3.90

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	13.6	700	95.5	500	24.4	400	168.4	24.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 一社(社名) — 、除外 1社(社名)(株)eSP
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期中間期	16,108,800株	2024年12月期	16,108,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	266株	2024年12月期	266株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年12月期中間期	16,108,534株	2024年12月期中間期	16,108,613株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や家庭に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における日本経済は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの緩やかな回復基調となっています。また、個人消費については、消費者マインドの改善に遅れがみられるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられています。内閣府は2025年7月の月例経済報告において、景気の先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要であることに加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっているとしています。

当社グループを取り巻く事業環境としましては、当社が注力するインターネット広告市場の2024年の市場規模は前年比9.6%増の3兆6,517億円となり、総広告費に占める構成比は5割に迫る47.6%となっております(出所:電通「2024日本の広告費」)。また、国内eスポーツ市場規模は2023年に前年比27.0%増の146.8億円となり、2024年は172.6億円、2025年は199.8億円と高い成長率で拡大する見込みです(出所:一般社団法人日本eスポーツ連合「日本eスポーツ白書2024」)。

このような事業環境の中で、当社グループはよりデジタル領域を中心に多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なコンテンツを提供し続けております。その中でも、面白プロデュース、ゲームエンタメ、eスポーツ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSプライダルプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は8,824,913千円(前年同期比14.6%増)、営業利益は291,288千円(前年同期比472.4%増)、経常利益は174,093千円(前年同期比43.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は352,073千円(前年同期比1,363.3%増)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントではありますが、サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

#### ① ゲームエンタメ

カジュアルゲーム領域、(株)カヤックアキバスタジオ及び(株)カヤックボンドでのゲームを中心とした受託開発が売上高の大部分を占めています。カジュアルゲームの中でもハイパーカジュアルゲームにつきましては、当中間連結会計期間に新作タイトル「Ragdoll Shooting」「Shuriken Cut」「Elastic Playground」「Tackle Battle」「Block Escape」の5本を正式にリリースしました。新作タイトルを5本リリースしたこと等により、ダウンロード数は前年同期比では19.2%増の約17,848万件と過去最高になりました。この結果、ゲームエンタメ関連の売上高は5,023,178千円(前年同期比13.9%増)となりました。

#### ② 面白プロデュース

既成概念をぶち壊すアイデア力と先端テクノロジーに精通した開発実装力によって、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験価値を生み出し、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告コンテンツを提供しております。近年の傾向として、デジタルとリアルの境目、広告とサービスの境目が曖昧になる中で、既存のデジタル広告領域にとどまらない多様な案件が増加しており、特に当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する高付加価値な領域にも進出しております。季節要因や大型案件の進行により短期的には増減が見られますが、通期では安定的な成長を見込んでおります。この結果、面白プロデュース関連の売上高は953,955千円(前年同期比4.8%減)となりました。

#### ③ eスポーツ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しています。GLOE(株)のeスポーツ事業並びにトーナメントプラットフォームの「Toname1」が売上高の大部分を占めております。当中間連結会計期間におけるToname1の開催数は、コミュニティに寄り添った運営によりTCG(トレーディングカードゲーム)を中心に国内大会数が増加したものの、海外へのマーケティング投資を下げた結果、前年同期比26.7%減の31,501件となりました。また、2025年2月付でeスポーツスクール事業を営む(株)eSPを売却いたしました。この結果、eスポーツ関連の売上高は1,153,169千円(前年同期比7.1%減)となりました。

#### ④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「スマウト」、コミュニティ通貨サービスの「まちのコイン」、地域プロモーションや地域開発の受託などのサービスが売上高の大部分を占めております。当中間連結会計期間末時点で、「スマウト」の累計登録ユーザー数は前年同期比25.0%増の約7.2万人となり、順調に拡大しております。「スマウト」の導入地域数も当中

間連結会計期間末時点で前年同期比17.4%増の1,142地域となり、市場の上限である自治体数約1,700地域に対する導入率が約67.1%となりました。加えて、当中間連結会計期間末時点での「まちのコイン」の累計登録ユーザー数は、前年同期比48.2%増の19.4万人と、こちらも順調に増加しております。また、前連結会計年度に札幌の企画会社である㈱メガ・コミュニケーションズを子会社化いたしました。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は824,508千円(前年同期比72.8%増)となりました。

#### ⑤ その他サービス

ブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、コロナ禍により業績が悪化した後、順調な成長基調にあります。また、前連結会計年度に当社子会社となった英治出版㈱の新刊が好調に推移しています。その結果、その他サービス関連の売上高は870,101千円(前年同期比51.8%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ275,780千円減少し、12,599,438千円となりました。主な要因は、関係会社株式売却等による現金及び預金の増加988,748千円、のれんの減少366,888千円及び売上債権及び契約資産の減少877,554千円であります。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ507,680千円減少し、6,340,069千円となりました。主な要因は、買掛金の減少200,236千円、未払金の減少139,908千円及び長期借入金の減少241,054千円であります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ231,900千円増加し、6,259,368千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加352,073千円及び配当による利益剰余金の減少62,823千円であります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ988,748千円増加し、5,768,846千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは919,345千円の収入(前年同期間は100,195千円の支出)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益417,410千円の計上、関係会社株式売却益の計上235,622千円、売上債権及び契約資産の減少907,604千円及び仕入債務の減少203,455千円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは451,404千円の収入(前年同期間は523,340千円の支出)となりました。主な要因は、長期貸付けによる支出242,300千円及び連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入757,607千円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは363,162千円の支出(前年同期間は720,574千円の収入)となりました。主な要因は、長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出548,381千円及び配当金の支払額63,177千円あります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績見通しにつきましては、2025年2月13日公表の「2024年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想から変更しております。詳細につきましては、2025年8月14日付で公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,780,097	5,768,846
売上債権及び契約資産	3,282,682	2,405,128
営業投資有価証券	179,672	278,577
仕掛品	156,479	76,001
その他	566,865	470,635
貸倒引当金	△16,047	△16,847
流動資産合計	8,949,749	8,982,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	809,106	879,365
工具、器具及び備品(純額)	72,593	79,241
土地	626,311	636,311
その他(純額)	79,256	158,154
有形固定資産合計	1,587,267	1,753,071
無形固定資産		
のれん	884,874	517,986
その他	371,475	368,296
無形固定資産合計	1,256,349	886,282
投資その他の資産		
投資有価証券	638,757	464,029
繰延税金資産	156,986	222,554
その他	340,893	358,309
貸倒引当金	△54,786	△67,151
投資その他の資産合計	1,081,851	977,742
固定資産合計	3,925,469	3,617,096
資産合計	12,875,219	12,599,438

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	676,964	476,727
短期借入金	450,000	400,686
1年内返済予定の長期借入金	826,085	908,837
未払金	900,144	760,236
未払費用	354,144	281,244
未払法人税等	77,559	205,414
契約負債	162,964	152,985
預り金	1,175,921	1,145,755
その他	148,624	173,259
流動負債合計	4,772,408	4,505,147
固定負債		
長期借入金	1,991,975	1,750,920
その他	83,366	84,001
固定負債合計	2,075,341	1,834,921
負債合計	6,847,750	6,340,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	900,238	900,238
資本剰余金	1,144,758	1,144,901
利益剰余金	3,471,632	3,760,881
自己株式	△281	△281
株主資本合計	5,516,347	5,805,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,848	1,632
その他の包括利益累計額合計	2,848	1,632
新株予約権	40,113	36,401
非支配株主持分	468,158	415,594
純資産合計	6,027,468	6,259,368
負債純資産合計	12,875,219	12,599,438

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	7,703,082	8,824,913
売上原価	3,635,681	3,846,675
売上総利益	4,067,401	4,978,238
販売費及び一般管理費	4,016,512	4,686,950
営業利益	50,888	291,288
営業外収益		
受取利息	553	1,723
受取配当金	1,302	884
助成金収入	8,750	—
新株予約権戻入益	—	763
為替差益	100,434	—
その他	14,344	16,490
営業外収益合計	125,385	19,861
営業外費用		
支払利息	5,413	13,055
持分法による投資損失	39,412	75,410
投資事業組合運用損	—	2,718
為替差損	—	39,457
固定資産除却損	8,857	—
その他	1,177	6,412
営業外費用合計	54,860	137,055
経常利益	121,412	174,093
特別利益		
固定資産売却益	20,839	271
投資有価証券売却益	—	56,741
関係会社株式売却益	—	235,622
事業譲渡益	—	5,345
持分変動利益	—	5,508
特別利益合計	20,839	303,489
特別損失		
投資有価証券評価損	—	60,173
減損損失	47,374	—
特別損失合計	47,374	60,173
税金等調整前中間純利益	94,878	417,410
法人税、住民税及び事業税	108,935	188,875
法人税等調整額	△28,640	△68,128
法人税等合計	80,295	120,747
中間純利益	14,583	296,663
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△9,476	△55,409
親会社株主に帰属する中間純利益	24,060	352,073

## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	14,583	296,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,914	△1,727
その他の包括利益合計	5,914	△1,727
中間包括利益	20,497	294,935
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	29,137	350,856
非支配株主に係る中間包括利益	△8,640	△55,921

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	94,878	417,410
減価償却費	90,887	87,719
減損損失	47,374	—
のれん償却額	77,719	80,334
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,205	8,573
受取利息	△553	△1,723
受取配当金	△1,302	△884
助成金収入	△8,750	—
新株予約権戻入益	—	△763
支払利息	5,413	13,055
固定資産除却損	8,857	—
為替差損益(△は益)	△44,621	18,838
持分法による投資損益(△は益)	39,412	75,410
固定資産売却損益(△は益)	△20,839	△271
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△56,741
投資有価証券評価損益(△は益)	—	60,173
投資事業組合運用損益(△は益)	—	2,718
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△235,622
事業譲渡損益(△は益)	—	△5,345
持分変動損益(△は益)	—	△5,508
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	784,309	907,604
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△129,693	△98,904
棚卸資産の増減額(△は増加)	△36,935	80,477
未収入金の増減額(△は増加)	41,299	△11,075
仕入債務の増減額(△は減少)	△134,394	△203,455
未払金の増減額(△は減少)	△575,328	△183,152
未払費用の増減額(△は減少)	△1,599	△56,594
預り金の増減額(△は減少)	17,809	△27,688
その他	△101,554	4,119
小計	142,182	868,703
利息及び配当金の受取額	1,855	2,608
利息の支払額	△5,588	△13,858
法人税等の還付額	36,954	114,148
法人税等の支払額	△284,350	△52,256
助成金の受取額	8,750	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△100,195	919,345

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	97,924	272
有形固定資産の取得による支出	△141,529	△141,058
無形固定資産の取得による支出	△8,035	△27,364
投資有価証券の取得による支出	△367,616	—
投資有価証券の売却による収入	—	96,051
長期貸付けによる支出	—	△242,300
敷金及び保証金の差入による支出	△1,314	△2,813
敷金及び保証金の回収による収入	15,349	3,651
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出	△151,506	—
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による収入	—	6,052
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	—	757,607
その他	33,386	1,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	△523,340	451,404
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△50,000
長期借入れによる収入	1,015,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△315,522	△548,381
配当金の支払額	△63,345	△63,177
連結の範囲の変更を伴わない関係会社株式の取得による支出	△47,500	—
連結の範囲の変更を伴わない関係会社株式の売却による収入	30,966	—
非支配株主からの払込みによる収入	976	3,499
その他	—	△5,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	720,574	△363,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,621	△18,838
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	141,660	988,748
現金及び現金同等物の期首残高	5,004,208	4,780,097
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,145,869	5,768,846

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。